

平成 17 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 實 清隆

最終学歴	東京大学大学院理学系研究科博士課程地理学専門課程単位取得退学
取得学位	学術博士
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、経済地理学会、日本都市学会、近畿都市学会、都市計画学会、日本地域学会、歴史地理学会
現在の専門分野	都市地理学会
研究課題	地価と土地利用変動、都心への人口回帰現象、都市・交通政策

【研究上の特記事項】

都市景観と街並保存の研究について、奈良町をフィールドに行い歴史地理学会の大会で発表した。地価の変動について、札幌をフィールドにGISの手法を駆使した研究をIGUの大会で発表した。

【教育上の特記事項】

2005年度に修士課程を修了した院生を、IGUの国際会議の舞台で自分と共著で発表させた。

【社会的活動】

奈良市の都市景観の審議員 大阪市住之江区のまちづくりの委員として活動した近畿都市学会の理事を勤めている。
大阪市教育委員会の市民講座、奈良大学の地区別教育懇談会で講演

【学内活動】（学内職歴を含む）

文学部長として2期目を勤めた。学校法人奈良大学の評議員を勤めた。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 大学テキスト人文地理学 2 3 4 5	単	2006年3月	古今書院	人文地理学の分野を地理思想から実証編まで一人で執筆78頁
(学術論文) Dynamics of Spatial Partem of Land Price in Sapporo since 1985 奈良町の景観変貌と景観保存 3 4 5	共 共	2005年8月 2006年2月	Cities in Global Perspective and Diversity Transition, Proceeding of Igu Commission 歴史地理学48-1	IG uのコミッションのフロンティア誌。札幌市の地価変動をGISの手法で分析614-619頁 奈良町の景観変容と保存についてその変態とGISの手法を使い分析66-80頁
(学会発表) 奈良町の景観変貌と景観保存 Dynamics of Spatial Partem of Land Price in Sapporo since 1985 3 4 5	共 共	2005年7月 2005年8月	歴史地理学会大会 Igu Commission Meeting on monitoring cities of Tomorrow Tokyo	歴史地理学会の大会のシンポジウムで奈良町の景観変容と景観保存について発表した。 IG uのコミッション会議で札幌市の地価と土地利用変動について発表した。
(その他) クリエイティブシティ創造へのアプローチ我が都市研究への歩み 2 3 4 5	単	2006年3月	奈良大地理12	實清隆の都市研究の歩みを自分史風に、主要業績をまじえて論じている。1-18頁